

報告します 委員会は 今

総務文教常任委員会

町内三図書館の現状



世羅図書館で説明を受ける委員

利用状況
三館合計(24年)
34873人
貸出冊数
三館合計(24年)
62062冊

蔵書数
甲山 26309冊
世羅 24440冊
世羅西 23126冊

3館とも来館者は減少傾向にある。今後、予約リクエストサービスの充実を図り親しみやすい図書館を目指す方針との説明があった。

IT機器の活用とレベルアップは

課題と現状

町のホームページの更新が遅い。OA技術に個人差がある。OA機器の幅広い活用で事務の効率アップを図るべき。

対策

25年度に新しくホームページを更新する。職員にOA研修の機会を提供する。文書主体のホームページから写真やイラストを多く取り入れるなどの改善方針が報告された。

24年度町税等の 決算見込み

前年度に比べ固定資産税、町県民税、国保税、軽自動車税などの収納率は微増となっている。これは、徴収事務の効率化が図られたことによる。

なお、24年度保育料、給食費はともに100%完納されていた。

第5期介護保険 決算見込み

第5期介護保険事業の1年目(24年度)は、認定者数および給付費ともに増加しており、対前年度比3%増である。今後も厳しい状況が予想されるので動向を注視する必要がある。

厚労省試算案は
介護保険事業の要支援1・2を町へ移管す

る方針を固めた。介護保健事業から要支援を切り離した場合の影響は、各自治体の実情に左右され、今後の動向を注視する必要がある。

国民健康保険 課税見込み

今年度の国民健康保険税は、前年度と同率課税の見込み。また、医療費の動向は、前年同期と比較した結果、若干下回っている。健康対策は、健康福祉まつり・各種健診の受診率アップなど重点施策の説明を受けた。

厚労省試算案は

今後の国保運営を町から県に事務移管すると発表。事務移管した影響は、国保事務を共同処理した場合、人口規模の小さい自治体は現在より負担が増加する見込みである。今後の動向をチェックする必要がある。

公共下水道事業

24年度繰越事業の本
管工事が進んでおり、
現場で説明を受けた。

本年度も20%の予算
カットがあり、1期工
事の28年度完成は難し
いようである。供用開
始地区の加入を勧めて
いるが、公共枡設置に
対し約50%の加入率で
ある。本年度は、甲山
本通り、甲山小学校付
近を進める予定であ
る。

野積み堆肥 その後の状況

業者は、市と県に対
し裁判が係争中で、問
題解決に至っていない。
汚泥を出した関係
市と民間の大口排出事
業者と県の3者で協議
する方向であるが、具
体化していない。地元

対策協議会の要望に対
して6市から回答を受
け、5月に同協議会が
開かれた。町は、引き
続き解決に向けて取り
組むとの説明があつ
た。

町道の維持舗装は

町全域の町道延長
は、804.7kmであ
る。そのうち1:2級
町道は、一〇〇%舗装
済みであるが、その他
の町道の15.2kmは未
舗装で、総延長の約2
割。町道の維持には、
多額の予算が必要であ
り、「ふるさとの道づ
くり事業」などを活用
し舗装に努めていきた
い。生活道について
は、今後検討する。町
道改良は、多くの要望
が出されており、改良

基準により進めたいと
説明があった。

経営所得安定対策 並びに中山間直接 支払制度の状況は

24年度の交付金総額
は、約3億4000万

円、うち米作に157
0戸、約2億2000
万円が支払われ、中山
間地域直接支払は、
2億4000万円で、
99の地域協定と21の個
別協定に支払われた。
25年度は、協定が2
件、17.5haの増加を
予定している。

八田原グリーンパ ークの管理状況は

管理人2人が交替で
対応している。利用者
は、年間約3000人
で主な使用目的はキャ
ンプである。指定期間
は、27年3月までと
なっているので、指定

管理方法について引
き続き研究し、今年
度中に方向性を出し
たい。



下水道推進工法工事現場

議会改革調査特別委員会

議会報告会並びに 意見交換会

議会報告会での意見や気づき

地域によっては、議会報告会で出された意見に対する回答が示されていないという意見があったが、議会は、自治センターにまとめて送付している。

議会での質問は、事前にしっかり調査し、発言すべきであるという意見があった。今後の議会改革調査特別委員会で認識を深めたい。



山福田自治センター



甲山自治センター

13自治センターで開催した議会報告会並びに意見交換会での意見を集約し、町に意見書を送付すると共に、回答が必要なものは自治センターを通じてお返りする。